

## (2) 多様な交流を促す交通・情報ネットワークを形成する

① 機能的で安全・快適な道路網を整備する

● 近畿豊岡自動車道春日和田山間の開通に引き続き、和田山豊岡間の整備を図るため、関係機関に要望するとともに、その他の国・県道の整備充実に努めます。

● 市道は、計画的に新設・改良等の整備を図り、市内各地区の道路交通の円滑化と安全・快適な道路環境づくりに努めます。

② 公共交通を確保し利便性の向上に努める

● 平成19年1月に実証実験運行を開始したアコバスの利用状況を分析し、必要に応じて運行計画の見直しを行うほか、路線バスの運行方法についても地域及び事業者と協議し、市内バス交通の利便性の向上に努めます。

● J・R播但線の利用促進や沿線でのイベントの実施などにより誘客促進を図り、電化高速化に向けた要望活動等を強化するとともに、山陰線高速化の促進及び余部鉄橋架け替え支援など、鉄道の利便性・安全性の向上に努めます。

● 但馬空港の利用促進を図るとともに、東京直行便の早期実現に向けた取り組みを関係機関と引き続き連携し推進します。

③ 情報基盤を整え、有効に活用する

● 市民と行政をつなぐ地域情報化の仕組みづくりなどを進めるため、地域情報化計画の具現化に向けた推進方針を策定します。また、携帯電話の不感地区の解消に向け、引き続き関係機関に要請し適切な対応を図ります。

● ケーブルテレビの運営は順調です。現行の朝来、和田山の2局体制の統合及びインターネットの一元化を平成19年10月目途に整備し、施設の維持管理、業務運営の効率化を図ります。また、システム全体の一元化についても平成23年7月のフルデジタル化までに年次計画をたて取り組みます。

● 平成17年度に整備した地上波デジタル放送については、引き続き十分な説明と適切な対応に努めます。また、フルデジタル化後の双方向性の活用等、高度利用に向けての調査研究を進めます。

● 自主放送番組については、市民によるボランティアアサポーター、モニター等からも地域情報の提供を受けるとともに、投稿ビデオ等市民参加による番組の内容充実を目指します。

## (3) 環境と共生し付加価値を生み出す農林漁業を育てる

① 収益性の高い「朝来の農業」を目指す

● 圃場整備後30年以上が経過し、農道や農業用排水施設の老朽化や損傷が進出し維持管理に多大の労力が必要となつて来ています。このことから、農業水利施設保全対策事業を導入し、農業施設の機能診断と今後の計画的な改修整備の基となる保全計画の策定を行ないます。また、継続事業である中山間地域総合整備事業及び農業基盤整備促進事業による農業生産基盤の強化と計画的な改修整備を図り、農業の担い手の育成・確保、農地の利用集積の促進や、特色ある産地づくりに努めます。

● 経営所得安定等大綱に基づき、集落営農の組織化や認定農業者等の育成に努

め、農地・水・環境保全対策や中山間地域直接支払い制度を活用し、地域全体で農地の保全、遊休農地の防止や農村集落環境の保全等、自主的・継続的な農業生産活動を支援します。

● 水田農業構造改革交付金等を活用し、岩津ねぎ、黒大豆、ピーマンの一層の生産拡大を図ります。特に岩津ねぎは商品登録を行なっており、日本一のねぎとして一層のブランド化・産地化を進めるとともに、関係者の協力を得ながら原種保存を行なうとともに品種の統一を進めます。

● 安全・安心な農業、有機農業への転換を図るため、土づくりセンターによる有機堆肥の普及を図り、朝来産農作物のイメージアップに努め、農業の大転換と活性化を期します。

● 地元農産物を加工した特産品の開発・生産を推進します。また、いきいき農作業体験事業や体験農園等を通じて、子供から大人まで地元農産物に対する愛着と親しみを深め、地産地消の意識を育み、地域の農業に対する理解を広げます。

● 農林業体験実習館のり館は指定管理者制度に移行し、地理的条件を最大限にいかす民活による積極的展開を進めます。佐のう高原スカイピラについては、水道施設の抜本的改修を図るとともに、指定管理者制度への移行を検討します。

● 山城の郷施設については、指定管理者による健全な管理運営に努めます。新たな魅力造りのため、市民参加を得ながら地域住民と十分な連携を図り、市民交流と花づくりイベント等の開催により「山城の郷」の再生に努めます。

● 食肉センターについては、指定管理者の自立的活動を支援し、畜産業の振興と共に但馬牛の一層のブランド化と健全運営に努めます。

② 豊かな森林を育て、多面的に活用する

● 風倒木被害の早期復旧と緑税を活用した緊急防災林整備事業等を推進することにより、災害に強い森づくりを進めて行きます。また、森林整備地域活動支援事業や環境対策育林事業等森林組合と連携し地域林業の振興と緑豊かな森林を有する郷土づくりに努めます。

● 市の約84%を占める森林資源の有効利用を図るため、広域基幹林道須留ヶ峰線、千ヶ峰三国岳線等及びふるさと林道粟鹿山線・岩屋観音線等の整備を推進します。

● 朝来林業総合センターについては、林業活性化の拠点施設としての機能を維持しつつ、土地及び建物施設については、朝来町森林組合へ譲渡する方向で進めます。

## (4) 雇用を高め賑わいをもたらす商業・観光を振興する

